

**Associate Professor Position in the Research Section of Socio and Eco Environment Risk
Management, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

October 17th, 2022

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Associate Professor position.

Location: Research Division of Disaster Management for Safe and Secure Society, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan.

Job description and required qualifications:

The appointed associate professor is required to conduct research on the interaction between water use and ecosystems in basin environments based on the comprehensive river basin flood management policies and the integrated sediment management in sediment routing systems. The candidate is expected to develop ecosystem-sediment hydraulics linkage models and river geomorphological management methods through habitat structure, as well as to conduct researches that contribute to Eco-DRR considering increase in external flood impacts due to climate change and sustainable management of water resource development facilities. Furthermore, it is expected that research projects that combine field survey, modeling, and area studies will be promoted in order to solve these watershed management issues, both domestically and internationally. The candidate will have responsibility for education in the Department of Urban Management, Graduate School of Engineering, Kyoto University. The candidate must hold a Ph.D. or equivalent degree and be proficient in Japanese.

Anticipated start date: As soon as possible after April 1st, 2023.

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week)

Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year's holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

(1) Curriculum vitae

- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letter(s) or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, December 19th, 2022 at the following address:

Selection Committee for Socio and Eco Environment Risk Management Associate Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

Additional notes

- (1) The university will not return your application documents.
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) Performance during maternity/childcare leave will be considered equivalent to performance before and after the leave period.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand smoke.

令和4年10月17日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)
中北 英一

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした全国共同利用の研究所です。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. **職 種**： 准教授
2. **募集人員**： 1名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所
大気・水研究グループ 水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域
(所在地：宇治市五ヶ庄)
5. **職務内容**：
流域治水政策や流砂系総合土砂管理を踏まえて、流域環境における水資源利用と生態系の相互作用に関する研究を推進する。特に、生息場地形を介した生態系－土砂水理連携モデルや河床地形管理手法を開発するとともに、気候変動に伴う洪水外力の増大を考慮したEco-DRRや水資源開発施設の持続的管理に資する研究を行う。さらにこれら流域管理課題に対して、国内外のフィールドを対象として、観測・モデリング・地域研究が一体となった研究活動を推進しうる人材を期待する。また、工学研究科都市社会工学専攻における教育を担当する予定である。
6. **資格等**： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
7. **採用予定日**： 令和5年4月1日以降、可能な限り早い時期

8. **任期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**： 専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当）
休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、および創立記念日
11. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法**：
次の(1)～(6) 各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙2ページ以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）
14. **書類提出先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
（書留便による郵送または事務室での直接提出に限る。電子メールやインターネットを通じた提出は不可。）
15. **応募締切**： 令和4年12月19日（月）17時【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：
水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff@dpri.kyoto-u.ac.jp （@を@に置き換えてください）
（電子メールに限ります）
18. **その他**：
(1) 応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。
- (3) 出産・育児期間中の業績は休業期間の前後と等しいとみなします。

- (4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- (5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。 <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

水資源環境研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

水の循環を様々なスケールにおいて理解することは、地球温暖化や生態システムの攪乱など深刻な環境問題の解決の鍵となる。そのため、水資源環境研究センターでは、リモートセンシングや全球気候モデル、大気-陸面過程モデルなどの技術を用い、ミクロな水文素過程から地球規模のマクロな現象までのマルチスケールにおいて水・物質の循環と社会システム、生態システムとの関係の解明を進めている。さらに、その結果に基づき、巨大災害や地球温暖化、地域開発に伴う深刻な環境問題のリスク評価、およびその対策としての社会基盤整備に活用するための方法論について研究を推進している。

水とかわる社会、生態システムの効果的・持続的な管理を実現するためには、気候や社会の変化レベルに立脚したパラダイム構築が不可欠である。そこで、ジオ（地球物理システム）、エコ（生態システム）、ソシオ（社会システム）の統合として水資源問題にアプローチしてきた蓄積を生かしつつ、こうしたパラダイムの構築に、物理学的、社会科学的双方の視点から貢献していく。

水資源環境研究センターは、下記の3研究領域と1つの客員研究領域で構成されている。

地球水動態研究領域

水循環システムと社会システムとの持続可能な関係を実現するため、水利用システムの計画と制御、水災害リスクの評価と管理、水関連災害時の人間行動に関する研究を推進する。

地域水環境システム研究領域

分布型流出モデル、陸面過程モデル、貯水池操作モデル等から構成される「統合水資源管理モデル」を開発し、水循環システムの信頼性の診断、水資源管理支援、気候変動下での洪水・渇水リスクの評価など様々な問題の解決を目指した研究を進める。

社会・生態環境研究領域

自然的（ジオ・エコ）・社会的（ソシオ）環境変化が水資源システムに与える影響を分析し、リスクマネジメント、また、水域の生態系サービスの持続的享受の観点から、治水・利水・環境のバランスのとれた統合的流域管理手法に関して研究を行う。

水資源分布評価・解析研究領域（客員）

水・熱・物質循環系の動態解析や人間・社会と自然との共生を考慮した水資源システムの評価・計画・管理研究の推進に際しての知識供給や技術支援、また、社会的要請の大きな時事的課題に対応するための研究を行う。

2. 現在の教員構成

	【教授】	【准教授】	【助教】
地球水動態研究領域	堀 智晴	—	山田 真史
地域水環境システム研究領域	田中 賢治	(公募中)	(選考準備中)
社会・生態環境研究領域	角 哲也	竹門 康弘* (今回公募) Sameh Kantoush	—

*2023年3月末定年退職

なお、当研究センターは、気象・水象災害研究部門、流域災害研究センターとともに大気・水研究グループを構成し、地球環境の変化をみすえた大気・水に関わる災害の防止と軽減ならびに水環境の保全に関する研究を推進しています。詳しくは、京都大学防災研究所のホームページ <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp> をご参照下さい。

----- 共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>